



見附中学校

令和5年2月発行

後期学校評価だより



1年 防災学習



2年 職場体験



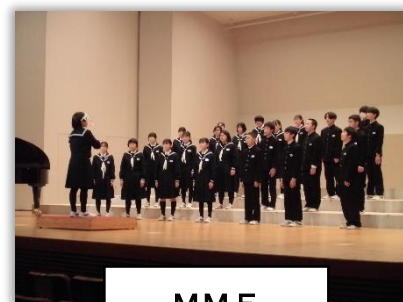
運動会



地域ボランティア活動



いじめ見逃しゼロ集会



MMF



新人大会



見附スマイル活動



授業の様子（見附子育て教育の日）

2学期は運動会やMMFなど大きな行事がありました。総合的な学習の時間では、2日間を総合活動日として1年生は防災学習、2年生は職場体験を行いました。また、1学期に引き続き、日常活動で〈知〉、〈徳〉、〈健〉の3分野で様々な活動に取り組んできました。特に、友和会スローガンである「繋 ～見附の笑顔は見中がつくる～」を意識し、積極的に地域ボランティアへ参加しました。

2学期の取組の様子、アンケート結果を紹介し、今後の取組をお伝えする「後期学校評価だより」を発行いたします。ご覧いただき、今後とも見附中学校の生徒たちの健やかな成長に向けて、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

< 知 > 確かな学力（資質・能力）の伸長

2学期以降の取組

授業では、普段からクロームブックを使用しています。総合学習発表会では1，2年生ともにクロームブックのプレゼンテーションソフトを活用し、職場体験や防災学習の成果をわかりやすく発表しました。また、1学期同様、「ミッケタイム」、「テストム」を行い、学習内容を授業、家庭学習、定期テストへとつなげるようにしました。

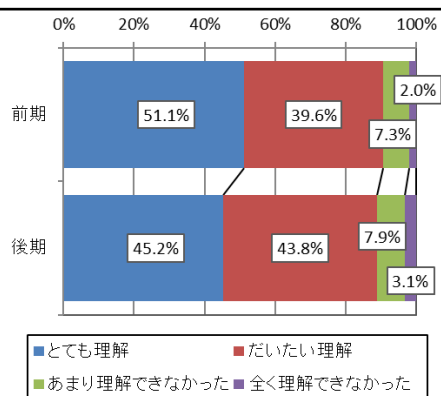


総合学習発表会（1，2年）

アンケート結果・分析

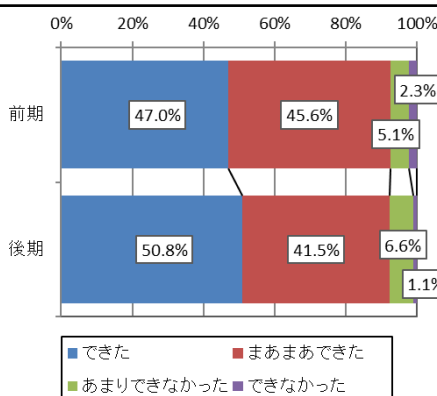
来年の取組

1 授業の内容がわかり、課題を理解して取り組むことができたか



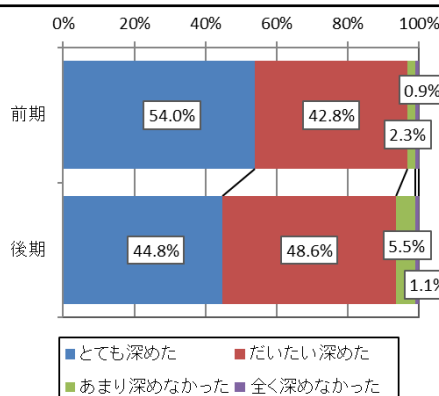
肯定的評価 91% → **89%**

2 授業中に課題に対して自分の考えをもって取り組むことができたか



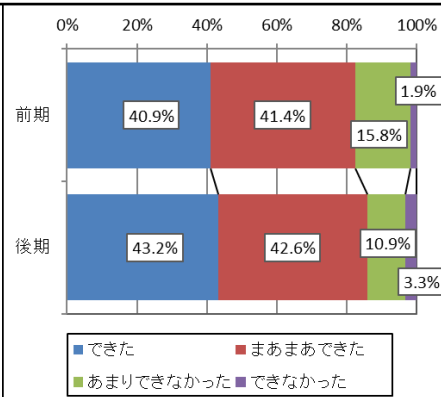
肯定的評価 93% → **92%**

3 クロームブックを使って、情報を集めたり振り返りや意見交換をしたりして、自分の考えを深めることができたか



肯定的評価 97% → **93%**

4 定期テストや家庭学習の計画を自分で立て、ミッケタイムやテストムで見直ししながら実行できたか



肯定的評価 82% → **86%**

アンケート1～3の肯定的評価は、1学期に比べて若干低下しましたが、それぞれ90%前後で、生徒は授業に対して自分の考えをもち、自分の考えを深め、課題を理解して取り組んでいることがわかります。アンケート4は、肯定的評価が上昇しました。「ミッケタイム」、「テストム」の取組が、授業と家庭学習、定期テストへとつながってきています。

自主的な学習とは、生徒自身がその学習に課題をもち、自分で選択して計画を立て、学習の進捗を自分で確認したり調整したりすることです。確かな学力を身に付けられるよう、授業と家庭学習をつなげる「ミッケタイム」、「テストム」を実施しています。また、クロームブックの持ち帰りによっても、授業と家庭学習をつなげていきます。

ご家庭でもお子様の学習の様子を見守っていただき、家庭学習の取組に声掛けをお願いします。

< 徳 > 自己肯定感と豊かな人間性・社会性の育成

2学期以降の取組

2学期は運動会やMMFの後に仲間のよさを認め合う「ジブサガ」を行いました。多くの褒め言葉が飛び交いました。10月には「見附スマイル活動」を行いました。ボランティア活動は、1学期以上に様々なコミュニティからボランティアの依頼があり、多くの生徒が主体的に参加しました。生徒は地域の方から感謝の言葉をいただき、充実した様子でした。また、「学校運営協議会」に初めて友和会の代表生徒が出席して、地域の方と今後の活動について話し合いました。



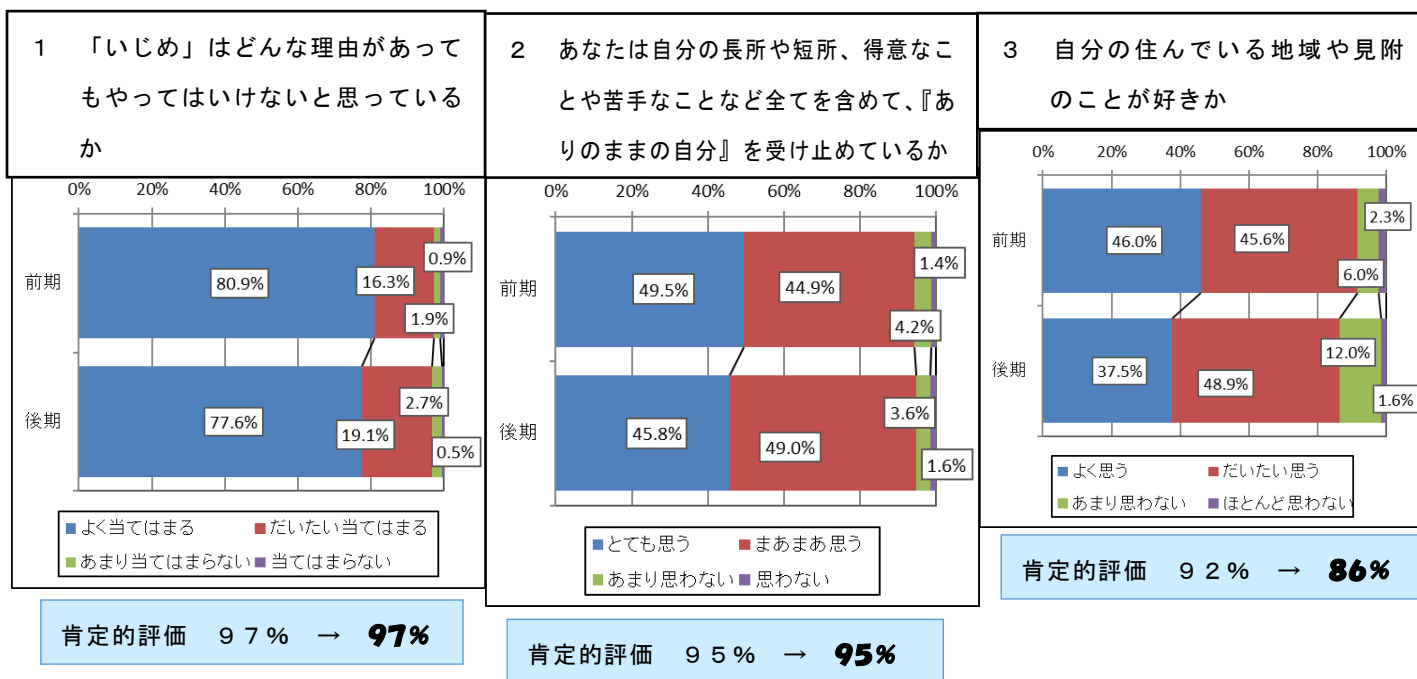
敬老会ボランティア



学校運営協議会

アンケート結果・分析

来年の取組



アンケート1、2とも1学期と比べて肯定的評価に変化はありませんでした。特に、いじめに関して、2学期もいじめ見逃しゼロスクール集会を開催したり、全校道徳を実施したりして、「いじめ見逃しゼロ」という意識を高めるように取り組みました。一方、アンケート3に関して、1学期以上に「見附スマイル活動」や地域コミュニティと連携したボランティア活動を行ったことにより、地域との繋がりが増え、参加生徒も増加しましたが、肯定的評価は低下しました。

来年度も自己肯定感を高める「ジブサガ」や地域貢献活動である「見附スマイル活動」を継続していきます。また、地域と学校との関わりについては双方向の取組を検討したり、地域の調査活動をしたりするなど、地域との繋がりを深めていきます。それらの活動を通して Social Capital や自己肯定感を高める生徒を育てていきます。ご家庭でもお子さんの自己肯定感を高めるために、伊手での手伝いなどの時に認める・褒める言葉がけをお願いいただけたらと思います。

< 健 > 価値ある生活の創造

2学期以降の取組

2学期にも学習、運動、メディア、睡眠の4項目の目標を考える「健つづ目標」を設定しました。1学期同様「健つづ強調週間」もご家庭の協力をいただきながら実施しました。「ストレスマネジメント集会」は当日参加できない保護者の皆様にも見てもらえるよう、集会の様子を録画し、後日 Youtube 配信を行いました。また、「体づくり講習会」を行い、講師の先生から短距離走の走り方を中心に、体幹を鍛えるトレーニングを教えてくださいました。

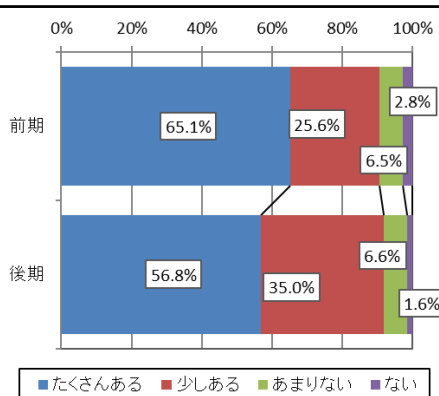


体づくり講習会

アンケート結果・分析

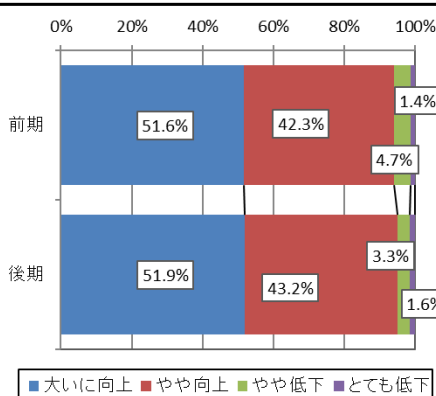
来年の取組

1 学校生活で楽しいことがあるか



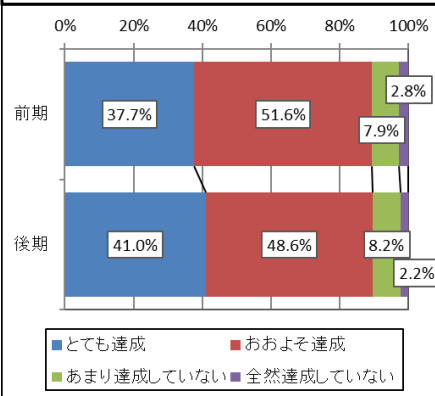
肯定的評価 91% → **92%**

2 生活目標(健つづ目標)を立て、自らの生活を振り返る機会を持つことができたか



肯定的評価 94% → **95%**

3 学習・メディア・睡眠のバランスのよい生活を送ろうと努力したか



肯定的評価 89% → **90%**

表1 健つづ強調週間の結果

評価項目	1年生		2年生		3年生		全体	
	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期
各学期	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期
学習時間	84分	70分	105分	95分	97分	127分	93分	95分
メディア時間	104分	97分	106分	106分	149分	137分	120分	118分
起床時刻	6時31分	6時36分	6時36分	6時43分	6時38分	6時43分	6時34分	6時40分
就寝時刻	22時23分	22時31分	22時58分	23時01分	23時09分	23時28分	22時45分	22時57分
睡眠時間	8時間9分	8時間5分	7時間38分	7時間42分	7時間29分	7時間15分	7時間49分	7時間43分

アンケートすべての項目で1学期よりも肯定的評価が上昇しました。自分の学習、メディア、睡眠に関する目標を設定し、「健つづ強調週間」で調査を行い、振り返り・改善につなげるというPDCAサイクルが浸透してきています。

一方、「健つづ強調週間」の結果では、メディア時間は全体的に減少傾向にあるものの、睡眠時間の減少が見られます。学習時間は1, 2年生は減少、3年生は上昇が見られます。(表1)

将来にわたって、「健幸」な生活を送るためには、一人一人が生活をマネジメントできることが大切です。来年度も目標を設定し、「健つづ強調週間」で自分の生活を調査・分析し、振り返りを行います。保護者の方は、お子さまの「健幸」のために、助言、協力していただければ幸いです。そのために、様々な講演会を開催したり、保健だよりなどで「健幸」のための情報を発信したりしていきます。